

# 自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

## 地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

## ○記入方法

### [取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

### [取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

### [取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

### [特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

## ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## ○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	株式会社 ドリエジヨ ゆめさとグループホーム
(ユニット名)	あじさい
所在地 (県・市町村名)	滋賀県蒲生郡日野町西大路字井上434-2
記入者名 (管理者)	谷川 雄清
記入日	平成 22年 7月 10日

(様式第1号)

## 自己評価票

(個別表)

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I 理念に基づく運営</b>					
I-1. 理念と共有					
1	1	<input type="checkbox"/> ①地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域性や個々それぞれの生活を重要に考えた理念がつくりあげている。		
2	2	<input type="checkbox"/> ②理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念にあがっていることを中心に考え入居者様や家族の日々の生活を大切にしている。		
3		<input type="checkbox"/> ③家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にされた理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	入居者様が馴染みのある地域の中で安心して暮らしていけるよう、家族様へは入居時申込時に説明したり運営推進委員会などで地域の方々を知って頂けるように取り組んでいる		
理念と共有 3項目中 2項目					
I-2. 地域との支え合い					
4		<input type="checkbox"/> ①隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近隣の方々とお会いする機会が少なく、関係が浅い。ただ地域の行事には積極的に参加し関わっている。	○	昨年度から開催している夏祭りなど事業所から近隣の方との交流の場を設け、より良い関係を築きあげられるようさらに取り組んでいきたい。
5	3	<input type="checkbox"/> ②地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事には出来るだけ積極的に参加し交流を保っており、毎年の恒例行事には必ずお誘いが来る関係にある。		
6		<input type="checkbox"/> ③事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の方と触れ合う事が多い職員は地域の情報などを取り入れ、介護サービスなどの相談や説明を随時行っている。また地域の方から依頼され講演の開催、事業所見学、説明なども実施している。	○	今年度は地域の方より年5回介護講座の依頼をされており、施設内の見学申し込み依頼も増加傾向にあり今後もこの関係をより良いものにして行ける施設でありたい
地域とのつきあい 3項目中 2項目					

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I-3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	<input type="checkbox"/> ①評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回評価の改善内容を元に職員全員で改善・修正に取り組み実施している。		
8	5	<input type="checkbox"/> ②運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	二カ月に一回運営推進会議を開催し、おおけい。その中で自己評価・外部評価を公表し、それについての意見も頂き、サービス向上・反映に努めている。	○	現在は家族の方の参加が行えていないので参加していただける体制を作りたい。
9	6	<input type="checkbox"/> ③市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	機会をつくり、グループホームの現在の状況などの把握をして頂くようにしている。また、地域の方でグループホーム対象者の方の相談や入所検討も実施しサービス向上に取り組んでいる。		
10		<input type="checkbox"/> ④権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	制度への理解など、事業所内のケアマネなどから学び、それに応じて支援している。		
11		<input type="checkbox"/> ⑤虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日々の業務の中で入居者様の様子を注意しながら確認を行っている。また、スタッフとの日々の会話の中で精神状態や体調を読み取るよう気を配り虐待防止に努めている。		
理念を実践するための制度の理解と活用 5項目中 4項目					
I-4. 理念を実践するための体制					
12		<input type="checkbox"/> ①契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	説明時には、十分な話し合いが出来る時間などを設け、家族様の思いなどを聞き、納得していただき同意、契約している。また解約時も同様に不安や疑問が起らぬ様に説明し同意を得ている。		
13		<input type="checkbox"/> ②運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の意見不満は日々耳を傾ける様に努めており、申し送り、会議などに挙げ早期の対応を実施している。また本人様が発言困難な場合は家族交流会、面会時に家族様に相談を持ちかけている。		
14	7	<input type="checkbox"/> ③家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月に一度、入居者様の状況を手紙にて家族様に報告している。また、担当職員が必要に応じ個々に連絡をとり、状況報告、並びに相談を実施している。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
15	8	<input type="checkbox"/> ④運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族様の意見、相談、不満など表わせる様に対応窓口をする職員を設けており、家族様の納得、同意を得た上で現場に申し送りを実施している。	○	家族交流会の開催により、意見交換や家族の気持ちも理解できる様になってきたが、全家族様の参加には至っていないので参加率の向上に努め、更なる意見・気持ちの理解に努めている。
16		<input type="checkbox"/> ⑤運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月一回のミーティングで職員の意見や提案を出せる場を設け出来るだけ反映している。また内容によっては臨時の会議や担当者による会議を設け、環境・業務の見直しを実施している。		
17		<input type="checkbox"/> ⑥柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	状況の変化、要望に出来る限り対応する様、担当職員を設け、業務や職員配置など継続的に見直している。		
18	9	<input type="checkbox"/> ⑦職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動・離職時には随時業務に入れる職員を設けておりダメージの軽減・フォローに努めている、また職員をユニットごとに固定し、顔馴染みの職員によるケアを心掛けている。		
理念を实践するための体制 7項目中 7項目					
I-5. 人材の育成と支援					
19	10	<input type="checkbox"/> ①職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員に応じた研修への参加に取り組みキャリアアップに努めている。また日々の業務に関しても、育成、管理意識向上を図るため、適した職員へ業務の振り分け、教育を実施している。		
20	11	<input type="checkbox"/> ②同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	立場、担当業務に関わらず、交流の場への参加を促している。また定期的に行われるグループホーム部会に担当業務者が参加し、情報交換を行っている。		
21		<input type="checkbox"/> ③職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	悩みや不安を抱えている職員の相談に乗り説明や希望を聞きながら適した業務や配置を考慮する様に努めている。		
22		<input type="checkbox"/> ④向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	年に3度、担当者による職員査定を行い、賞与に還元している。また査定評価の高いスタッフを正規職員や役職を設けるなどの昇進の実施もしている。		
人材の育成と支援 4項目中 4項目					

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
II-1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		<input type="checkbox"/> ①初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面談で生活状況を把握し、本人の不安や思いを聞き入れ、本人に受け入れてもらえるような関係作りができるように努めている。		
24		<input type="checkbox"/> ②初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族様の担当窓口を設け、希望や不安、悩みなどに対応している。また、他の事業所や医師などと連携をとり対応を実施している。		
25		<input type="checkbox"/> ③初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族の必要とする支援を見極め、担当者、専門員、専門医などと連携し適したサービスを行える様に努めている。		
26	12	<input type="checkbox"/> ④馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族、本人のケアマネージャー等と相談し、デイサービスの利用、空室状況にもよるが、短期入所を行い馴染む期間、納得出来る期間を設けている。		
相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 4項目中 4項目					
II-2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	<input type="checkbox"/> ①本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日々のかかわりから学ぶことも多くお互いが協力し支え合いながら生活している。また、関わりをより多く築き関係を深める事が出来る様、業務の見直しなどを1カ月に一回行って	○	より入居者の理解に励み、職員一人一人が同一の対応が出来る様月一回のミーティングをさらに活用して行けるよう努めたい。
28		<input type="checkbox"/> ②本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族の思いをケアなどの面で一緒に考え協力して頂いている。また、入所時の説明から、家族により差はあるが、外出や食事介助にきて頂くなど、ケア提供の一部分を担ってもらっている。	○	家族様と共に行える行事の作成に取り組んでいる。今年度より家族様と共に行ける日帰り旅行を新たに計画進行中である。
29		<input type="checkbox"/> ③本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入居時に家族の思いや今までの本人との関係などを聞き入れ理解し担当職員が間に入り橋渡しを行い現在の最善の関係を保てるように心掛けている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30		<input type="checkbox"/> ④ 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れな いよう、支援に努めている	馴染みの方々に出会える地域の交流の場に出か け、関係が途切れないように支援している。また、 家族様の同意のもと職員が面会者との橋渡しを行 い、理解を持って継続した関係を支援している。		
31		<input type="checkbox"/> ⑤ 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず に利用者同士が関わり合い、支え合えるように努 めている	入居者の方の能力や症状を理解し、個別で のケアやユニット内での共同作業や施設内の 行き来などで利用者間の関係の支えあいと 関係範囲の拡大を行っている。		
32		<input type="checkbox"/> ⑥ 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わり を必要とする利用者や家族には、関係を断ち切ら ないつきあいを大切にしている	退去後も担当者が必要な関わりを、本人、家 族、退去後の機関の担当者と継続的な連絡 を取り合っており、相談や情報提供に努めてい る。		
新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 6項目中 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
Ⅲ-1. 一人ひとりの把握					
33	14	<input type="checkbox"/> ①思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	自分の思いを伝えることが出来る方と意思疎通が難しい方がおられるが、常に本人の気持ちになってできる限り意向に沿うようケアを心掛けている。意思疎通困難な方は家族様との相談のうえで必要と思われるケアを提供している。		
34		<input type="checkbox"/> ②これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居される前の面接時に今までの暮らしに関わる情報を家族様より得るようにしている。また他の機関でサービスを受けて居られた方はその機関からも情報をえている。		
35		<input type="checkbox"/> ③暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	介護記録・業務日誌・ケース記録などに記入と看護師、担当職員にも可能な範囲、日々の申し送りに参加してもらい総合的に把握できるように努めている。		
一人ひとりの把握 3項目中 3項目					
Ⅲ-2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	<input type="checkbox"/> ①チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や家族からの意見や月一回のミーティング内で話あった内応をふまえた上で計画を作成している。		
37	16	<input type="checkbox"/> ②現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3～6か月に一度見直しの実施と突発的な変化が生じた場合は、ユニット各のカンファレンスの意見を基に家族、医師、管理者、で話し合い新たな計画を作成している。		
38		<input type="checkbox"/> ③個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人の日常生活状況などからきずいた事を記入しているケース記録などから本人の情報を共有し、介護計画を見直している。		
介護計画の作成と見直し 3項目中 2項目					
Ⅲ-3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	<input type="checkbox"/> ①事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	デイサービス、福祉用具、栄養士などの担当職員と連携を図り、本人に身体的、精神的に柔軟な対応が出来る様に支援している。		
多機能性を活かした柔軟な支援 1項目中 1項目					

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		Ⅲ-4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40		<input type="checkbox"/> ①地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティア活動の受け入れ、消防・救急訓練や近くの小学校との交流をはかっている。また運営推進会議にも参加して頂いている、各区長・民生委員・警察・地域包括センターの方々と連携し協力を得ている		
41		<input type="checkbox"/> ②他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	担当職員を設け、他の機関のケアマネジャーや担当者等と話し合い、相談や支援を得ている。		
42		<input type="checkbox"/> ③地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	定期的に入居者様の状況報告し、必要に応じて意見をもとめるようしている。		
43	18	<input type="checkbox"/> ④かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族様、本人様の希望されるかかりつけ医を利用して頂いている。また事業所かかりつけ医とも月一回の往診結果などで、医師同士の連携もとって頂いている。		
44		<input type="checkbox"/> ⑤認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	専門医へ受診が必要な方に対しては家族様と相談し専門医が居られる医療機関に受診・状況報告を月一回行い安定した生活が送れる様支援している。		
45		<input type="checkbox"/> ⑥看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	出来る限り入居者の様子を申し送り状態を把握して頂けるよう努めている。また相談・処置等連携をとり行っている。		
46		<input type="checkbox"/> ⑦早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入居者様が入院された場合、職員がお見舞いに行き家族様・病院関係者から、様子を聞き状況把握・情報交換を行っている。また医療機関担当者や家族様からも随時連絡を取り合う関係が築けている。		
47	19	<input type="checkbox"/> ⑧重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	現在、入所時に終末医療方針についての同意確認印を貰っている。また、担当職員を設け、早期、緊急時の話し合いを設けている。	○	事業所内で重度化・終末期での医師との連携。また家族様の思いに対しての取り組みを強化し意思統一を図りたい。



自己 評価 項目	外部 評価 項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り 組んでい きたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48		<input type="checkbox"/> ⑨重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	事業所内で対応できること・できないことの見極めを行い、本人様の状況を伝え家族様の要望を聞き今後の支援の方向性を検討している。また、必要に応じ医師との連絡調整を行い、医師・看護師の意見も聞きながら取り組んでいる。		
49		<input type="checkbox"/> ⑩住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	本人様が転居される際、または退去される際は出来る限り情報交換を行い、話し合う機会をもち住み替えによるダメージを軽減できるように努めている。また、連携サマリーを作成し対応に大きな変化が生じない様に努めている。		
地域資源との協働 10項目中 10項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
IV-1. その人らしい暮らしの支援					
IV-1. (1) 一人ひとりの尊重					
50	20	<input type="checkbox"/> ①プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしている	入居者様個々に合った言葉使いを心掛け、個々の記録・情報については、他者の目に付かないところに置くように配慮し、連絡事項や申し送りなどは本人や他者にわからないように申し送るようにしている		
51		<input type="checkbox"/> ②利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	入居者様個々の声に耳を傾け、出来る限り意向にそい納得して頂いた上で自己決定して頂けるよう努めている。		
52	21	<input type="checkbox"/> ③日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々それぞれの毎日の生活のペースに合わせ、おのおのに適した生活の提供に努めている。また職員は個々の生活がスムーズにできる環境作りにも努めている。		
その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重 3項目中 3項目					
IV-1. (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		<input type="checkbox"/> ①身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	行きつけの美容院を基本利用して頂いているが、定期的に散髪屋さんが施設に来られるので希望があればそちらも利用して頂いている。服装なども意向を聞きながら好まれている物を着て頂いている。	○	職員で理容師の資格を持つものがあるので、独自のサービスとして提供を開始している。
54	22	<input type="checkbox"/> ②食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	基本平日の昼・夕食はディサービスで合同調理を行っているが、土・日は昼・夕食を個々の力を活かし極力準備・調理・後片付けを支援しながら行っている。		
55		<input type="checkbox"/> ③本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	極力本人様の好まない物の提供を避け、好まない時には差し替え提供出来る様努めている。また定期的に施設のお菓子を購入しにお店に行き、好みのお菓子を購入して頂けるよ	○	週一回パン屋さん・ヤクルトさんに其々に施設に販売に来て頂いており、希望される方に購入して頂いている。またパン屋さんより施設独自におやつ・朝食用のパンを各一回分の購入を行い提供したいる。
56		<input type="checkbox"/> ④気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表の記入を元に個々の排泄状況間隔を理解し、それぞれに応じた排泄介助を行っている。		
57	23	<input type="checkbox"/> ⑤入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人の意思や希望に合わせ、それぞれのペースでゆっくり入浴して頂いている。基本的に衛生保持のため二日に一回の入浴ではあるが、本人の希望や体調などで臨機応変に対応している。	○	身体低下に伴い、通常の入浴が困難な方には当施設併設のディサービスの特殊浴槽を活用しそれぞれのペースでゆっくり入浴して頂いている。

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58		<input type="checkbox"/> ⑥安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	基本的には就寝時間を決めておらず、本人様の好きな時間に休んで頂いていますが、認知症状から落ち着いて眠れない方もおられ医師と相談しながら対応している。		
その人らしい暮らしの支援 (2)基本的な生活の支援 6項目中 5項目					
IV-1. (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	<input type="checkbox"/> ①役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	塗り絵・貼り絵等の趣味的な事や、縫い物・洗濯干し・洗い物等の家事的な事を個々の生活歴や力に応じて提供支援を行えるよう努めている。		
60		<input type="checkbox"/> ②お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的に施設で家族様より預かり保管させて頂いており、希望に応じてその中からお小遣いとして使用して頂いている。	○	週一回パン屋さん・ヤクルトさんに其々に施設に販売に来て頂いて希望される方に購入して頂いている。
61	25	<input type="checkbox"/> ③日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	その日の突発的な本人の希望される場所への外出は難しいが、数日後に体制を整え出きり限り意向に沿った形での実施に努めている。また定期的に季節に適した外出を計画し		
62		<input type="checkbox"/> ④普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族様の協力も得ながら、部分的に外出を行っている。また、本人の希望を聞きつつ、外出先を検討している。	○	現在家族様参加型の日帰り旅行を計画進行中であり、近日中に実施が決定している。
63		<input type="checkbox"/> ⑤電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	認知症状により現在は実施が困難であり、また、実施出来そうな方は定期的に家族や知人が面会に来られているため支援実施を行っていない。		
64		<input type="checkbox"/> ⑥家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族様・知人の方等が面会に来られた際は、居室・食堂・居間等で思い思いに過ごしていただいている。家族様により定期的に面会に来てくださる方も増えてきている。		
その人らしい暮らしの支援 (3)社会的な生活の支援 6項目中 6項目					
IV-1. (4) 安心と安全を支える支援					
65		<input type="checkbox"/> ①身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に付いての勉強会をひらき職員全員が理解したうえでケアにあたって居るが意識せずに行っていた事も有り職員同士話し合い注意しケアに取り組んでいる。		

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	26	<input type="checkbox"/> ②鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	基本的には、鍵はかけないようにという考えではあるが、事故防止のため鍵をかけざるを得ない状況にもあり状況に応じて施錠している。日中は、敷地内に自由に動いてもらえるスペースを設置している。		
67		<input type="checkbox"/> ③利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	スタッフ間での声かけ、ユニット間での声かけを行っている。所在確認を絶えず行っている。入居者様の状況により、プライバシーの配慮ができない事もあるが、基本的にはプライバシーの配慮を行いつつ、日々の状態把握に努めている。		
68		<input type="checkbox"/> ④注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	個々の入居者様の状態に応じ対応を行っている。		
69		<input type="checkbox"/> ⑤事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故報告・ミーティングなどで、個々の状態を把握し防止の方法を検討している。交代勤務であるため、勉強会等の開催が難しい部分もあり、資料等を作成し、目を通せるようにしている。		
70		<input type="checkbox"/> ⑥急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	年に一回救命士を招き訓練を行っている。また、休日・夜間帯等医師・看護師と連絡を取れる体制を整え、緊急時の指示が仰げるようにしている。		
71	27	<input type="checkbox"/> ⑦災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練(日中・夜間想定)の実施。消火器具の取り扱いについて等行っている。また地域の方へも機会があるたびに働きかけている。	○	運営推進会議を通して地域の方に連携協力を要請している。
72		<input type="checkbox"/> ⑧リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	入居時、または訪問時等家族様と話し合う機会を設け、現状で起こりうるリスクの説明を行い、本人様・家族様の要望・希望に沿った形で出来る範囲の対応を考慮・実施している。		
その人らしい暮らしの支援 (4)安心と安全を支える支援 8項目中 6項目					
IV-1. (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		<input type="checkbox"/> ①体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	入居者様の身体的状況などをよく観察し変化等の早期発見に努め、状態情報を記録し速やかに看護師、専属の医師に相談し、早期対応に努めている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
74		<input type="checkbox"/> ②服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬内容のファイルを作成し、処方内容を受診ごとに新しい物に差し替え、職員が内容を把握できるようにしている。また個々に手渡しにて飲みきるまで見守りを行っている。		
75		<input type="checkbox"/> ③便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食事メニュー等にも気を配り、乳製品の取り入れ体を動かすことの提供もほぼ毎日行なっている。また個別での対応も実施している。		
76		<input type="checkbox"/> ④口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	入居者の状況や能力を理解し各個人にあった口腔ケアを実施している。	○	入れ歯の方に関しては毎週一回洗浄剤にて入れ歯の洗浄を行っている。
77	28	<input type="checkbox"/> ⑤栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々それぞれの身体的な状況に応じた食事提供や水分摂取量の確認を行い介護記録への記入を実施している。		
78		<input type="checkbox"/> ⑥感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染マニュアルの作成・看護師・調理士による感染予防指導にて予防対応している。		
79		<input type="checkbox"/> ⑦食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	キッチンの清掃と調理器具の消毒をし、衛生管理を毎日の業務としている。食材は新鮮なうちに調理している。また栄養士、調理士の指導も実施している。	○	季節にともなった食中毒予防、食品衛生管理のミーティング・申し送りを行っている。
その人らしい暮らしの支援 (5)健康面の支援 7項目中 7項目					
IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
IV-2. (1) 居心地のよい環境づくり					
80		<input type="checkbox"/> ①安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	帰宅願望が強い方もおられ、外部の方の訪問時は基本的にデイサービスの玄関を利用して頂いている。グループホーム側の玄関は入居者様が自由で安全に外へ出て頂けるスペースとして利用している。		
81	29	<input type="checkbox"/> ②居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間に四季折々の花や個々に創作して頂いた飾りなどを屋内にも飾っている。またテラスにて四季折々の花を栽培し触れ合えるようにしている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
82		<input type="checkbox"/> ③共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	主となる共同スペースのソファや椅子の配置を工夫したり、また、和室の活用や玄関にもソファを配置し独りでも、気の合った者同士でも過ごせる場を作成している。		
83	30	<input type="checkbox"/> ④居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	認知症状の軽度の方は本人の意向に添って実施し対応しているが、認知症状の進行や妄想、不眠など発生されている方は、家族に相談の上、本人の精神、身体負担を配慮した環境の作成になっている。	○	現在居室の家具に関しては家族様の負担軽減の為、設置しきのリース部屋の形へと移行して行っている。
84		<input type="checkbox"/> ⑤換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	毎朝、起床後に換気を行い。その日の天候や気温等、個々それぞれの快適な温度調節を行っている。		
生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり 5項目中 4項目					
IV-2. (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		<input type="checkbox"/> ①身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の入居者様の状態に応じ、居室内で安全に過ごして頂けるよう努力している。		
86		<input type="checkbox"/> ②わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	個々に様子観察を行い、混乱や失敗が発生しないよう声掛けにて自立して暮らせるように努めている。		
87		<input type="checkbox"/> ③建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関先に椅子を配置し天気のいい日には日光浴や散歩や花に水をあげられるなど日々、活動の場を設け楽しんで頂ける様努めている。		
生活環境づくり (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり 3項目中 3項目					

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる ○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある ○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています ○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている ○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
		↓○印欄
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

現在、当事業所では多様なニーズに対して出来る限り応えられる様、デイサービス、福祉用具、栄養士、看護師との協力、連携を図り入居者と共に楽しめる環境の作成を継続的に実施している。また認知症専門の医師との協力、多数の医師との連携、他の介護事業所のケアマネージャー、看護師との連携も図れており今後も強化していく予定である。職員に対しての指導も業務優先や生活の確保やリスク回避のみに捉われず、共に楽しむ事、気持ちを理解し尊重する事を伝えている。家族によっては更に高い希望を持たれている方、現在のサービス内容に満足されてない方もおられると思いますが、今も進行中では有りますが、家族の方々にも入居者の現在の能力や認知症状をより理解してもいい、事業所との関係を深くし、家族の側から何が出来るかを見つけてもらい、それを入居者本人に還元出来る事も取り組んでいる。

また、事業所全体としての取り組みとして職員雇用の状況に関しても、年齢的な事、身体的な事、精神的な事、家庭の事、金銭的な事など様々な理由によって離職に繋がる様な職員についての対応も取り組んでおり、適した業務の作成や配置移動など設け、継続して働ける場所の提供を実施している。これも、入居者様や地域への貢献と考え強く取り組んでいます。

今後も職員、家族、地域、医師、他の機関等と深く関わり意思統一し、より良い環境を作成出来ればと思います。また今後も事業所本位にならず、入居者・家族様側に立ったケアを心掛け多様なニーズに対応出来る限り応えられる様取り組んでいきたい。



# 評価結果整理表

個別表		□のチェック項目数
<b>I 理念に基づく運営</b>		
-1.	<input type="checkbox"/> 理念と共有	0 項目/3項目
-2.	<input checked="" type="checkbox"/> 地域との支え合い	2 項目/3項目
-3.	<input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための制度の理解と活用	1 項目/5項目
-4.	<input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための体制	1 項目/7項目
-5.	<input type="checkbox"/> 人材の育成と支援	0 項目/4項目
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>		
-1.	<input type="checkbox"/> 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	0 項目/4項目
-2.	<input checked="" type="checkbox"/> 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	2 項目/6項目
<b>III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>		
-1.	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの把握	0 項目/3項目
-2.	<input type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	0 項目/3項目
-3.	<input type="checkbox"/> 多機能性を活かした柔軟な支援	0 項目/1項目
-4.	<input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	1 項目/10項目
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>		
<b>IV-1. その人らしい暮らしの支援</b>		
-1. (1)	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの尊重	0 項目/3項目
-1. (2)	<input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援	3 項目/6項目
-1. (3)	<input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援	2 項目/6項目
-1. (4)	<input checked="" type="checkbox"/> 安心と安全を支える支援	1 項目/8項目
-1. (5)	<input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援	2 項目/7項目
<b>IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>		
-2. (1)	<input checked="" type="checkbox"/> 居心地のよい環境づくり	1 項目/5項目
-2. (2)	<input type="checkbox"/> 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり	0 項目/3項目

## 総合評価

### I 理念に基づく運営 ( 4項目/5項目)について

職員の日々の業務意識の中に理念を浸透させた対応の実施と、その理念を基に運営推進会議、地域との交流、家族との関係に反映させ、より良い関係を築ける様に情報提供、助け合い、日々の交流などの環境を強め地域の一部として、家族の一部として理解を持って頂ける事業所作りに努めたいと思います。

### II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 ( 1項目/2項目)について

入居者様への対応、関わり、理解、関係など基本的には、今までよりも向上出来たと思います。今後も意識し見直す点は、家族様の意見や希望、本人様の情報や希望を収集し、還元出来る、対応と環境の強化に取り組み。また、収集した内容を現場職員に浸透させ、実施していくための教育や理解、意思統一出来る環境をよりいっそう取り組み強化していきたいと思います。

### III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント ( 2項目/4項目)について

現在でも内部的、外部的にも連携を取り、より良いサービス提供の実施を試みてはいるが、内部的にはより密な連携をとる様に心掛け、外部的にも今の関係の継続、強化。新しい機関や関係者、協力者との関係構築を取り組み、今後、最重要事項の一つである終末期、重度化対応への環境作成、現場での意思統一を図りたいと思います。

### IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 ( 4項目/7項目)について

入居者様の希望を反映出来る、環境作りとそれに対応出来るための柔軟性を現場職員に伝え、理解してもらう。排泄、入浴などの日常生活の中での個々の気持ちを聞き入れる事、実施出来る事、環境と嗜好の支援、自身で希望の物を購入出来る、自己決定を尊重した環境の強化を図りたいと思います。

☆サービスの質の向上に向けて、取り組む課題と優先順位、具体的な行動の計画

評 価 年 月 日:平成22年 7月 10日

前回評価年月日:平成21年 7月 14日

サービスの質の向上に向け取り組む課題			取り組み期間 (○年○月～ ○年○月まで)	改善に向けた具体的 な行動	達成度評価	次期 評価 実施 時期
評価項目 番号	優先 順位	内 容				
I-2 4・5		地域密着の事業所を目指し地域貢献の強化に励む。	H22年8月～	地域の方に気兼ねなく相談・見学して頂けようより一層のこちらからの随時アプローチして行く。		
I-3 8		運営推進会議や地域交流を活用し関係の強化とサービス向上を図る。	H22年7月～	年間内部行事の作成と二ヶ月に一度の運営推進会議の開催継続を続け、家族様の参加も家族会時に促しをかける。		
I-4 15		家族様へ入居者様の状態の提供や家族会定期開催を図り信頼の強化とサービス向上を図る。	H22年9月～	家族様の家族会への参加率向上を目指し意見交換の強化に努める		
II-2 27・28		共に支え合う関係を構築するため、気持ちの理解向上や家族様と共にを行う行事を作成する。	H22年8月～	より家族様・本人様の思いを共有する為、日帰り旅行を実施する。		
III-4 47		重度化や終末期への取り組みを実施しているが、内容の強化を図りたい。	H22年8月～	外部への連携と家族様との信頼の強化。職員の意味統一へ向けての勉強会の取り組み。		
IV-1 53・55 57・60 62・71 76・79		基本的な生活の為の支援の強化・充実を行う。	H22年8月～	衣食住の選択要素の充実の為公共機関の更なる活用と家族様・地域の方々との交流の強化をはかる。		
IV-2 83		重度化や終末期に対応した居室の整備	H22年8月～	重度化や終末期を想定し必要とされる備品確保に取り組む。		